



協定書を手にする田口頭取(左)と小沢市長

市は4月22日、㈱岩手銀行と地方創生に関する協定を締結しました。この協定は、雇用と産業の創出、結婚支援や子育て環境の充実など5項目について連携して取り組み、本市の地方創生施策の推進と地域活性化を目指すものです。

市役所で行われた協定締結式で小沢昌記奥州市長は「互いの力を寄せ合い、住んで良かった」と言われるようなまちづくりを」と期待を述べ、㈱岩手銀行の田口幸雄頭取は「連携によって地域社会の発展に貢献していきたい」と応えました。



回収したごみを運ぶ参加者たち

北上川流域一斉清掃活動を4月16日、水沢区と江刺区、前沢区の市内9か所で行いました。平成9年に始まり、ことしで20回目を迎えた活動に502人が参加。前沢区白山の大曲橋付近の河岸では、住民やイオン前沢店の従業員などと共に、小沢昌記奥州市長と岩手河川国道事務所の野口暁浩水沢出張所長も清掃活動に参加しました。

草木が生い茂った河岸を分け入り、空き缶や発泡スチロールなどを回収した参加者は、北上川の環境美化に気持ちをあらたにしています。

北上川の恵みを守る春の清掃活動

名残の桜を眺め晩春を思う
お物見公園桜まつり

お物見公園桜まつり（前沢商工会青年部主催）が4月23日、同公園で開催されました。園内の桜は満開を過ぎましたが八重桜はちょうど見ごろ。天候にも恵まれ、公園を訪れた人は花見を楽しみました。

お祭り会場では、ちびっこ宝探しや景品がもらえるストラックアウトが行われたほか、「本気の宝探し」と題した大人向けの新しいイベントも開催されました。前沢区の高橋翼くん（7）は「桜を見に来たらお菓子がもらえてうれしい」と祭りを楽しんだ様子でした。



歓声を上げて宝に駆け寄る子どもたち

雪解け後の環境美化に一丸
第22回山と川のクリーン作戦

山と川のクリーン作戦が4月24日、衣川区全域で実施されました。市と衣川区公衆衛生組合連合会（菅原賢一会長）が主催し、毎年雪解け後の時期に行っている清掃活動に、区民約1,200人が参加。地域一丸となって、川辺や山裾のごみを拾い集めました。

ごみの回収には市建設業協会衣川支部の6企業が協力。トラック5台で3.1tを回収・運搬しました。同支部の佐藤信治支部長は「環境美化の意識を持って地域に貢献していきたい」と決意を述べていました。



小ささまざまなごみが回収されました

春待つ溪谷に架かるアーチ
国道397号の除雪状況を公開

国道397号冬期通行止め区間の除雪状況が4月15日、関係者や報道機関に公開されました。同日時点で平七沢ゲート～秋田県境の総延長16.3kmのうち13kmの除雪を完了。暖冬で雪が少なかった影響から、例年よりも早いペースで作業が進められていました。

除雪完了後、ガードロープなど道路設備の整備や通行時の安全確認を終えた同区間の通行止めは、5月2日正午に解除。昨年より13日早く、平成2年以来26年ぶりにゴールデンウィーク期間中の開通になりました。



吹きつける風雪の中、ロータリー除雪車が勢よく雪を飛ばす

ファンの期待背に人馬一体
岩手競馬2016シーズン開幕

岩手競馬の2016年度シーズンが4月2日、水沢競馬場で開幕しました。曇り空で肌寒い中、入場口に並んだ長蛇の列が開門と同時に続々と入場。騎手や関係者らが温かい笑顔で迎え入れました。

開幕セレモニーで県競馬組合管理者の達増拓也知事は「心をひとつに頑張ろう東北。ときめき無限大の岩手競馬を提供していく」とあいさつ。県調騎会騎手部長の村上忍騎手は「地域、全国に愛される競馬を目指し、全力で騎乗する」と高らかに宣誓しました。



ゴール前の熱き叩き合い。2016シーズンがスタート

街なかに人呼ぶ歌声の響き
市まちなか交流館開館5周年イベント第1弾

市まちなか交流館の開館5周年を記念して4月24日、都内で音楽活動やラジオパーソナリティとして活躍する水沢区出身のシンガーソングライターMotoさんによるイベント「Sakura Live」が開催され、圧倒的な歌唱力と澄んだ声が観客を魅了しました。

イベントを主催した㈱まちづくり奥州の板屋吉治代表は「若者が自分自身を表現できる場、誰でも利用できる居心地の良い場を今後も提供していく」とまちづくりへの思いを語りました。



庄巻のパフォーマンスが地元水沢に凱旋

交通安全願いだるまが走る
交通安全祈願・交通安全だるまりレー

市交通安全対策協議会による交通安全だるまりレーが4月10日、胆沢区内で行われました。春の全国交通安全運動に合わせて実施されるこの催しは、交通事故犠牲者の供養と事故の撲滅、飲酒運転の根絶を願い、南都田、小山、若柳の3地区でだるまをたすき代わりにリレーし、交通安全意識の高揚を図っているものです。

小沢昌記奥州市長の「安全で安心できるまちづくりのために支援と協力を」というメッセージを受け出発した参加者は、地元住民に交通安全を呼び掛けていました。



交通事故撲滅を願って開眼しただるまを手にリレーに出発